

# ネット de アンケート

## ●家庭でつくる鶏肉のから揚げについてきく

### から揚げを揚げる頻度は2週間に1回 使用する部位はモモ肉に人気集中



子供が大好きだが、家であまり作りたくないという料理の代表格として真っ先に頭に思い浮かべるの何か？多くの人が鶏肉のから揚げを思い浮かべるだろう。実際、食肉消費総合センターの調査による鶏肉を使った夕食メニューの出現頻度構成比をみても、から揚げは1位を続けており、その人気はやはり高いといえる。だが、から揚げは人気はあっても「食べさせたいが、作りたくない」という複雑なポジションにいるメニューなのだ。そこで今回のネットでアンケートは鶏肉のから揚げに焦点を絞り、調査を行ってみた。一口に家庭で食べるから揚げといっても「家庭で調理するもの」「調理済みの総菜」「冷凍食品」と分けることができるが、今回は家庭で調理するから揚げを中心にアンケートを行った。

アンケートの有効回答数は1,790件。男女の構成比は女性が60.4%、男性が39.6%。年代別では30代が一番多く31.9%、次いで40代の27.0%、50代の17.2%が続く。都道府県別では東京12.4%、神奈川8.6%、大阪7.0%、愛知6.7%、埼玉6.6%の順となった。アンケートは5月下旬に実施。

## Q1 家庭で鶏肉のから揚げを揚げる頻度は

### 2週間に1回が支持を集める

実際に家庭で行っている鶏肉のから揚げの頻度をきいてみた。1番回答割合が高かったのが「2週間に1回」の26.8%で、次が「1カ月に1回」の20.2%。3位には「1週間に1回」の14.6%が入った。このアンケートみる限り、1カ月に1回以上は鶏肉のから揚げを揚げるという人の割合は76.7%と高く、8割近い人の支持を集めている。やはり作りたくない料理とはいっても、から揚げの人気は高いようだ。

ではこの質問を都道府県別にみてもみよう。

東京はの1位は「2週間に1回」で28.4%となり、全体の平均値よりも若干高くなっている。2位には「1カ月に1回」が入ったが、18.6%となり、1位のそれと比較すると10%近い差が出てい

る。3位には「1週間に1回」が10.2%で入ったがこちらも全体の平均値よりも低い割合となった。では、1カ月に1回以上、から揚げをつくるという人の割合をみると66.9%となり、全体の平均値よりも10%近くダウンしている。

大阪の1位は23.0%の支持を集めて「1カ月に1回」となった。

次が「2週間に1回」の22.1%。13.1%の同率で「1週間に1回」と「3週間に1回」が並んでいる。では1カ月に1回以上、家でから揚げをつくるという人は何%だったのか。74.6%と

なり東京よりは高い数値であったが、全体の平均値よりは低い割合となった。ちなみに愛知県のそれは81.1%、北海道は82.3%となり、ともに8割オーバーで全体の平均値を上回っている。

地域別にみると、関東は、ほぼ全体の平均値と近い数値になった。1カ月に1回以上はから揚げを揚げるという回答割合が高かったのが東北で82.5%の8割以上の人の支持を集めた。

## Q1 家庭で鶏肉のから揚げを揚げる頻度は？

1週間に複数回.....	3.4%
1週間に1回.....	14.6%
2週間に1回.....	26.8%
3週間に1回.....	11.7%
1カ月に1回.....	20.2%
3カ月に1回.....	7.9%
ほとんどつくりたくない.....	11.1%
全くつくりたくない.....	4.3%

## Q2 スーパーなどで調理済みの鶏肉のから揚げを買う頻度は

### 「ほとんど買わない」が30%以上に

では、調理済みの総菜としてから揚げを買う頻度はどうか。

意外ではあったが「ほとんど買わない」という回答割合が1番高く31.6%と、3割以上の人の支持

を集めた。次が「1カ月に1回」の23.6%。3位には16.0%の「2週間に1回」が入った。

今回のアンケートみる限りでは、家庭で調理してつくるから揚



げよりも、調理済みのから揚げを食べる頻度は低いようだ。1カ月に1回以上調理済みのから揚げを食べるとする人の割合は62.4%となり、調理してつくるから揚げと比べると10%以上ダウンしている。

都道府県別にみてみよう。

東京はやはり、「ほとんど買わない」の回答が1位となったが26.9%で全体の平均値よりも低く、2位となった「1カ月に1回」の支持割合(24.1%)との差はわず

かだ。福岡の1位も「ほとんど買わない」だったが、その支持割合は38.6%と4割近くまで伸びた。

地域別にみて、「ほとんど買わない」の回答割合が

30%を切っているのは、甲信越(25.6%)、北陸(25.9%)、東海(29.7%)となり、中部日本に固まってる。ちなみに「ほ

## Q2 スーパーなどで調理済みの鶏肉のから揚げを買う頻度は

1週間に複数回	2.8%
1週間に1回	13.2%
2週間に1回	16.0%
3週間に1回	6.8%
1カ月に1回	23.6%
ほとんど買わない	31.6%
全く買わない	6.1%

とんど買わない」の回答割合が1番高かった地域は35.6%の中国。

## Q3 家庭で冷凍食品のから揚げを食べる頻度は(弁当除く)

### テーブルに乗る頻度は少ない冷食のから揚げ

あくまでも家で食べるという点にこだわり、冷食のから揚げについてもきいてみた。弁当を入れるとこの数値も大きく変動するだろう。1位は「ほとんどない」で42.4%と4割を超える支持を集める結果に。「全くない」の回答を合わせると60.5%となり、アンケートみる限りでは6割以上の人が

冷凍食品のから揚げを家ではあまり食べないと回答。調理して食べるから揚げのそれと比較すると、3倍近い差となった。

都道府県別にみてみよう。

東京の1位は「ほとんどない」で39.1%と全体の平均値よりも3%ほど低くなっている。2位は「全

くない」が18.6%で入り、この二つの回答を合わせると57.7%と、やはり5割以上の方が家庭で冷凍食品のから揚げをあまり食べないと答えている。主な都道府県の「ほとんどない」の回答割合は大阪・42.6%、愛知・44.8%、福岡・45.7%、北海道・47.7%となっている。

## Q3 家庭で冷凍食品のから揚げを食べる頻度は(弁当除く)

1週間に複数回	3.0%
1週間に1回	7.1%
2週間に1回	8.7%
3週間に1回	4.2%
1カ月に1回	16.4%
ほとんどない	42.4%
全くない	18.1%

## Q4 お弁当にから揚げを入れる場合、頻度が高いのは

### 家で揚げたから揚げがトップに

では、実際に弁当にから揚げを入れる場合、頻度が高いのはどれかをきいてみた。

1位は「家で揚げたから揚げ」で45.1%、僅差で「冷凍食品」が42.7%の2位。予想では冷凍食品

が1位となり、割合ももっと高くなるのではと思われたが、意外にも「家で揚げたから揚げ」が1位となった。

アンケートみる限りでは、自分

## Q4 お弁当にから揚げを入れる場合、頻度が高いのは

家で揚げたから揚げ	45.1%
お店で販売している調理済みのから揚げ	12.2%
冷凍食品	42.7%

めた地域は北海道(45.7%)、甲信越(50%)、北陸(50%)、近畿(49%)、中国(46.4%)の6地域となっており、それほど少なくはない。ただどの地域とも2位の「家で揚げたから揚げ」との差はわず

かとなっている。関東地方はほぼ、全体の平均値に近い数値になった。ちなみに「家で揚げたから揚げ」の割合が50%を超えている地域は九州(51.7%)のみ。九州の「冷凍食品」の割合は35.2%。「冷凍食品」が1番高い支持を集

## Q5 家でから揚げをつくりたいが、ためらってしまうという1番の理由は

### ネックは「油などの後片付け」

やはりというか、当然というか、1位には「油などの後片付けなどが大変」が入り、その割合は63.0%と圧倒的な数値となった。これはフライものの全般にいえることだろう。いろんなメーカーから手軽にから揚げができるようなアイテムを発売はしているが、なかなか、から揚げの頻度を上げるまでには至っていないのが現状。しかし、この問題をピンポイントでクリアできるようになれば、から揚げが家で行われる頻度は高くなることは間違いない。

都道府県別にこの質問をみてみよう。

各都道府県とも軒並み「油などの後片付けが大変」が60%を超えているが、回答件数が多かった都道府県では愛知(56.9%)と北海道(59.4%)の二つ。逆に福岡は72.3%と7割を超える数値となっ

た。地域別にみても「油などの後片付けが大変」は、すべての地域で60%前後の支持を集める結果となった。

## Q5 家でから揚げをつくりたいが、ためらってしまうという1番の理由は

揚げる前の調理が面倒	11.3%
油などの後片付けが大変	63.0%
つくる時間がない	5.2%
部屋に臭いがつく	5.5%
あまりおいしく揚がらない	5.4%
健康に良くなさそう	2.8%
高齢者が多いので揚げ物が危ない	1.2%
その他	5.6%



## Q6 家で鶏肉のから揚げを揚げる場合、使用する頻度が高いのは

### 「モモ肉」が60%以上の圧倒的割合

この質問も、やはりというか、「モモ肉だけ」という狙い撃ちで「モモ肉」が7割近い、圧倒的な支持を集め、1位となった。2位の「ムネ肉」との差は実に3倍以上。このアンケートみると、これまでの鶏肉販売で連綿と続いている「モモ肉」人気、「ムネ肉」不人気という単純な図式がみえてくる。「モモ肉とムネ肉のミックス」の割合が3.1%とかなり低かったことを考えると、から揚げは

#### Q6 家で鶏肉のから揚げを揚げる場合、使用する頻度が高いのは

モモ肉	68.3%
ムネ肉	20.8%
ササミ	1.8%
手羽	2.2%
チューリップ	1.2%
モモ肉とムネ肉のミックス	3.1%
いろんな部位のミックス	1.8%
その他	0.7%

モ肉」の割合が75.0%と全体の平均値よりもさらに高くなった。低かったのは60%を切った北海道でそれでも59.8%と、ほぼ60%に近い数値となっている。

地域別では関東の「モモ肉」は72.5%と全体の平均値よりも高くなっている。東京のそれ(68.6%)と比べると4%ほど高くなっていることから、東京以外の各県が関東の割合を引き上げていることがうかがい知れる。関東以外で70%を超えているのは四国(78.3%)のみ。モモ肉の割合が1番低かったのは甲信越の51.3%であった。ちなみに甲信越の「ムネ肉」の回答割合は30.8%と、唯一30%を超える数値となっている。

## Q7 家でから揚げを揚げる場合、目安としている大人1人前の個数は

### 「5個」が2位に大差をつけてトップに

家でから揚げを揚げる場合の大人1人前の個数をきいてみた。「10個以上」という回答が5.2%というは少し、驚かされたが、1位となったのは「5個」の41.6%でダントツの1位であった。次が19.9%の「4個」「3個」が12.7%で続いている。1位と2位の差は2倍以上、票にして350票以上の差が出ている。もう少しばらけ

るかと思ったが、予想以上に1位に票が集中したようだ。都道府県別にみてみよう。東京の1位はやはり「5個」で



が入った。大阪の1位も「5個」で39.5%とこちらも全体の平均値よりも低い値になった。2位には「3個」と「6個」が同率(16.7%)で入っている。愛知県の1位は「4個」が入り、1位と2位の差は全体のそれよりも縮まってきている。

地域別にみてみよう。関東の1位は「5個」で、その支持割合は37.9%と全体の平均値よりも低くなり、2位の「4個」は23.5%と全体の平均値よりも高くなっている。近畿では「5個」が

#### Q7 家でから揚げを揚げる場合、目安としている大人1人前の個数は

1個	0.2%
2個	1.2%
3個	12.7%
4個	19.9%
5個	41.6%
6個	12.1%
7個	4.0%
8個	2.9%
9個	0.2%
10個以上	5.2%

42.5%となり、2位の「4個」(16.7%)を倍以上引き離す結果となっている。近畿では「5個」が

## Q8 家でから揚げを揚げる場合、目安としている大人1人前の量目は

### 近畿の1位は35.5%で「150g」

では、量目はどうか。1位は「150g」の41.3%、2位が「100g」の25.5%、3位が16.8%で「200g」が入った。前述の個数の質問と比べて、1位と2位の

差は小さくはなっているようだ。そこで、この回答結果を前述の質問と合わせて考えてみると、アンケートから得られた、から揚げ1個あたりの量目で支持されるのは

#### Q8 家でから揚げを揚げる場合、目安としている大人1人前の量目は

100g未満	7.1%
100g	25.5%
150g	41.3%
200g	16.8%
250g	5.1%
300g以上	4.2%

30gということになる。地域別にみてみよう。関東は、ほぼ全体の数値と同じ割合となっている。近畿は1位の「150g」が35.5%と全

体の数値のそれより低くなっており、その代わりに3位に入った「250g」が20.2%よ高くなっている。近畿以外で1位が30%を切った地域は甲信越(38.5%)、中国(32.0%)であった。



## Q9 家庭でから揚げを揚げる場合、目安として大人1人前の鶏肉の金額は

### 「100円未満」の割合、各県でばらつく

1位となったのが44.0%の「200円」。2位には21.5%で「100円」「300円」の17.3%が続いている。予想ではもう少し価格が低いかと

思ったが、意外にもそうではなかった。都道府県別にしてみよう。大阪の1位は33.6%の「200円

に愛知県の「100円未満」は12.8%と1割以上あり、逆に福岡は3.2%とかなり低い。県によってこの「100円未満」の回答割合はバラツキがあるようだ。地域別にしてみよう。

### Q9 家庭でから揚げを揚げる場合、目安として大人1人前の鶏肉の金額は

100円未満	9.9%
100円	21.5%
200円	44.0%
300円	17.3%
400円	4.6%
500円以上	2.7%

であったが、「100円未満」という回答も13.1%あった。この「100円未満」の回答を東京で見ると4.3%とこちらは全体の数値よりも低くなっている。ちなみ

関東は1位の「200円」の回答割合が全体の数値よりも2%ほど高くなっているが、ほぼ同じような割合となっている。「200円」の回答割合が50%を超えているのは東北(50.0%)と九州(51.1%)で、逆に40%を切っているのが、甲信越(35.7%)と近畿(37.8%)、中国(38.8%)の三つ。

## Q10 家でから揚げを揚げる場合、お気に入りのから揚げ粉のメーカーは

### 40%の支持を集めて日清が1位

から揚げに欠かせない調味料と

わなない」という人を取り込むような商品が出てくれば、から揚げ粉の需要はまだ伸びるのかもしれない。

アンケートでは日清のから揚げ粉を使っているという人が多く、40.4%で1位となった。2位に入ったのが「市販のから揚げ粉は使わない」で31.1%と3割以上の支持を集めた。この数字だけを見れば、「市販のから揚げ粉は使

地域別みてみよう。どの地域でも日清の支持割合は30%オーバーとなっており、安定した人気となってい

### Q10 家でから揚げを揚げる場合、お気に入りのから揚げ粉のメーカーは

オーマイ	7.8%
昭和	8.2%
ダイショー	2.2%
日清	40.4%
日本食研	3.3%
ヒガシマル	1.6%
スーパーのプライベートブランド	2.6%
その他	2.7%
市販のから揚げ粉は使わない	31.1%

る。それ以外のメーカーで10%以上の支持を得ているものを紹介してみると。北海道のオーマイ

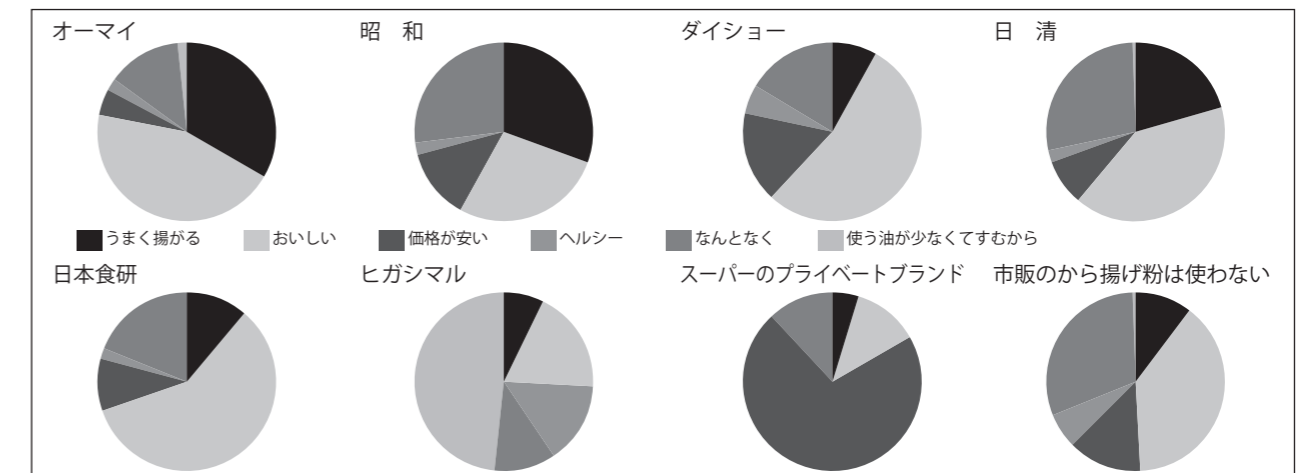
(12.1%)、東北の昭和(10.2%)、なみに地域ごとの「市販のから揚げ粉は使わない」の回答割合を紹介してみる。北海道・35.4%、東北27.6%、関東31.6%、甲信越・29.3%、北陸・23.1%、東海・32.1%、近畿26.2%、中国29.4%、四国・37.8%、九州・35.3%。

## Q11 あなたが、その、から揚げ粉を気に入っている1番の理由は

### 「なんとなく」の回答が4分の1に

「おいしい」が1位となり38.7%と4割近い支持を集めた。ただ、「なんとなく」という回答も

各メーカーごとの1番の理由をグラフにまとめてみたの参照してもらいたい。



## Q12 こうなれば家でから揚げを揚げる頻度が多くなるのに、と思うのは

### 後片付けを解決すればから揚げの頻度も向上

やはり、「後片付けが簡単になれば」が52.8%と過半数の支持を集めて1位となった。これはフライという料理の宿命なのかもしれない。あとの支持割合はほぼ横一線という状況。やはりこの後片付けの問題を緩和させない限りは、さらなるから揚げの頻度は伸びてこないようだ。

都道府県別にみても、やはり「後片付けが簡単になれば」の回答は50%前後の支持を得ている。地域別にみても、40%の後半から70%という上下で大きな差は出ているが、ほと

どの地域で50%前後の数値となっている。

### Q12 こうなれば家でから揚げを揚げる頻度が高くなるのに、と思うのは

前調理が簡単になれば	12.9%
後片付けが簡単になれば	52.8%
うまく揚げられれば	13.8%
ヘルシーになれば	13.5%
価格が安くなれば	7.0%